

かわまちづくり計画(案)の策定に向けて

- (1)かわまちづくり協議会の振り返り
- (2)かわまちづくり計画のハード・ソフト施策について
 - 1)ハード・ソフト施策の抽出
 - 2)ハード・ソフト施策の選定方法
 - 3)ハード・ソフト施策の選定結果
- (3)四万十川かわまちづくりロゴマークについて
- (4)今後のスケジュールについて
- (5)今後の取組みについて

(1) かわまちづくり協議会の振り返り

四万十川かわまちづくり これまでの取組み

開催時期	会議等	内容
令和4年度	7月 第1回 協議会	【説明・報告】かわまちづくりの支援制度・事例、協議会の設立趣旨 【審議】検討体制、基本方針・目標、計画エリア、今後のスケジュール
	10月 第1回 ワーキング	【依頼】施策案の募集 【現地確認】現地視察の実施
	12月 第2回 ワーキング	【意見交換】施策案の募集結果より、当面実施する施策（“推し”施策）を選定
	1月 第3回 ワーキング	【意見交換】“推し”ハード施策の具体化
	2月 第4回 ワーキング	【意見交換】“推し”ソフト施策の具体化
	3月 菜の花まつり（アンケート）	【アンケート】菜の花まつりの来場者・出店者に対し、かわまちづくりに関するニーズを把握
令和5年度	7月 第5回 ワーキング	【意見交換】社会実験の実施メニュー案
	8月 第1回 社会実験（アンケート）	【イベントの実施】ワーキングで挙げられた施策案等の試行を行い課題を把握 【アンケート】社会実験の来場者に対し、かわまちづくりに関するニーズを把握
	8月 四万十川納涼花火大会（アンケート）	【アンケート】花火大会の来場者に対し、かわまちづくりに関するニーズを把握
	9月 第2回 社会実験（アンケート）	【イベントの実施】ワーキングで挙げられた施策案等の試行を行い課題を把握 【アンケート】社会実験の来場者に対し、かわまちづくりに関するニーズを把握
	10月 第2回 協議会	【説明・報告】かわまちづくり計画検討の進捗状況 【審議】かわまちづくり計画の施策案
	10月 第3回 社会実験（アンケート）	【イベントの実施】ワーキングで挙げられた施策案等の試行を行い課題を把握 【アンケート】社会実験の来場者に対し、かわまちづくりに関するニーズを把握
	12月 第6回 ワーキング	【確認】四万十川かわまちづくり計画 施策の最終案
	2月 第3回 協議会	【説明・報告】かわまちづくり計画検討の検討経緯 【審議】かわまちづくり計画（案）、かわまちづくり計画の推進方針

第2回 協議会報告

今回報告

第2回協議会の開催概要

■開催概要

■日 時：令和5年10月6日（金）13：00～14：00

■場 所：四万十市防災センター

■出席者：四万十市長、四万十市副市長、中村商工会議所会頭
中村河川国道事務所長、高知県幡多土木事務所長代理
中村地区区長会会長、具同地区区長会会長
入田地区区長、四万十川漁業協同組合連合会会長代理
四万十川自然再生協議会事務局長

■事務局：四万十市、中村河川国道事務所

■議 事：事務局から以下について説明した。

- ・第1回協議会・ワーキング・社会実験の振り返り
 - ・かわまちづくり計画のハード・ソフト施策（案）
- その後、以下について審議を行った。
- ・今後のスケジュール
 - ・かわまちづくりの実施内容案
 - ・今後の留意点



協議会会長（中平市長）の挨拶



協議の様子

■決定事項、主な意見等

■決定事項

以下について審議いただき、了承を得た。

- ①今後のスケジュール
- ②かわまちづくりの実施内容案
- ③今後の留意点

■主な意見等

- 水が綺麗になると人が集まると思われるので、**入江内の水質浄化は、ぜひ実現させてほしい。**
- 案内板は外国語にも対応**し、ライトアップで**夜間も視認できる**ような工夫をしてほしい。
- ヤナギ林と水辺の間の河原**に土砂が高く堆積しているため、**掘削すると川に近づきやすい。**
- 入田のヤナギ林の園路は雨が降るとぬかるんで歩きにくく、車いすの場合は移動が困難となるため、**園路の整備はぜひ実施してほしい。**
- イベントの**仮設ステージを建築する際に柱などを建てこみができるような基礎がほしい。**

主な意見についてはハード・ソフト施策へ

第6回ワーキンググループの開催状況

■開催概要

■日時：令和5年12月27日（金）13:30～15:30

■場所：四万十市役所 3階 防災対策室

■出席者：入田村代表

中村河川国道事務所工務第一課課長、河川管理課課長
高知県幡多土木事務所道路建設課課長
四万十市まちづくり課課長補佐、環境生活課課長補佐、
企画広報課係長

一般社団法人四万十市観光協会広報チーム

中村商工会議所経営指導員

公益財団法人四万十川財団事務局長

四万十市保育所PTA連合会会長

公益財団法人四万十市スポーツ協会常務理事

四万十川中央漁業協同組合理事

公益財団法人四万十市公園管理公社事務局長

四万十川自然再生協議会幹事

四万十川流域住民ネットワーク代表世話人

中村河川国道事務所河川管理課係長（オブザーバー）

株式会社モンベル（アドバイザー）

■事務局：四万十市、中村河川国道事務所

■議事：事務局から以下について説明し、質疑を行った。

・四万十川かわまちづくり協議会のロゴマークについて

・四万十川かわまちづくり計画 施策の最終案について

・今後のスケジュール・体制等について

■決定事項、主な意見等

■主な意見等

【環境配慮について】

○入江の整備について、**自然環境保全の観点から学識者に意見をいただく**必要があると思う。

また、整備をするうえで**環境に配慮することについて広く発信・共有**されることを望む。

○キャンプ場への水道の設置について禁止していても洗剤を使う人が出てくると思う。**浄化設備等を整備**していただけると助かる。

○**マイヅルテンナンショウ**という重要種がヤナギ林の中に生育しているので、**保全しながら整備**を進めていただければと思う。

【施策の推進について】

○ソフト施策については、どのように**PRしていくかが重要**になる。

例えばジャパンエコトラックでは、公式サイトやアプリでいろいろなエリアのルートマップを公開しており、PR効果は非常に高い。

○**ソフト施策の内容・担い手を具体化**するために、**引き続き検討が必要**である。

【所感】

○自分が見ている世界と川の中で生きている世界の双方から考えることが大事だと感じた。

未来を担う子供たちのためにも、川に親しめる環境・心に残る環境にできればと思う。



ワーキンググループの様子



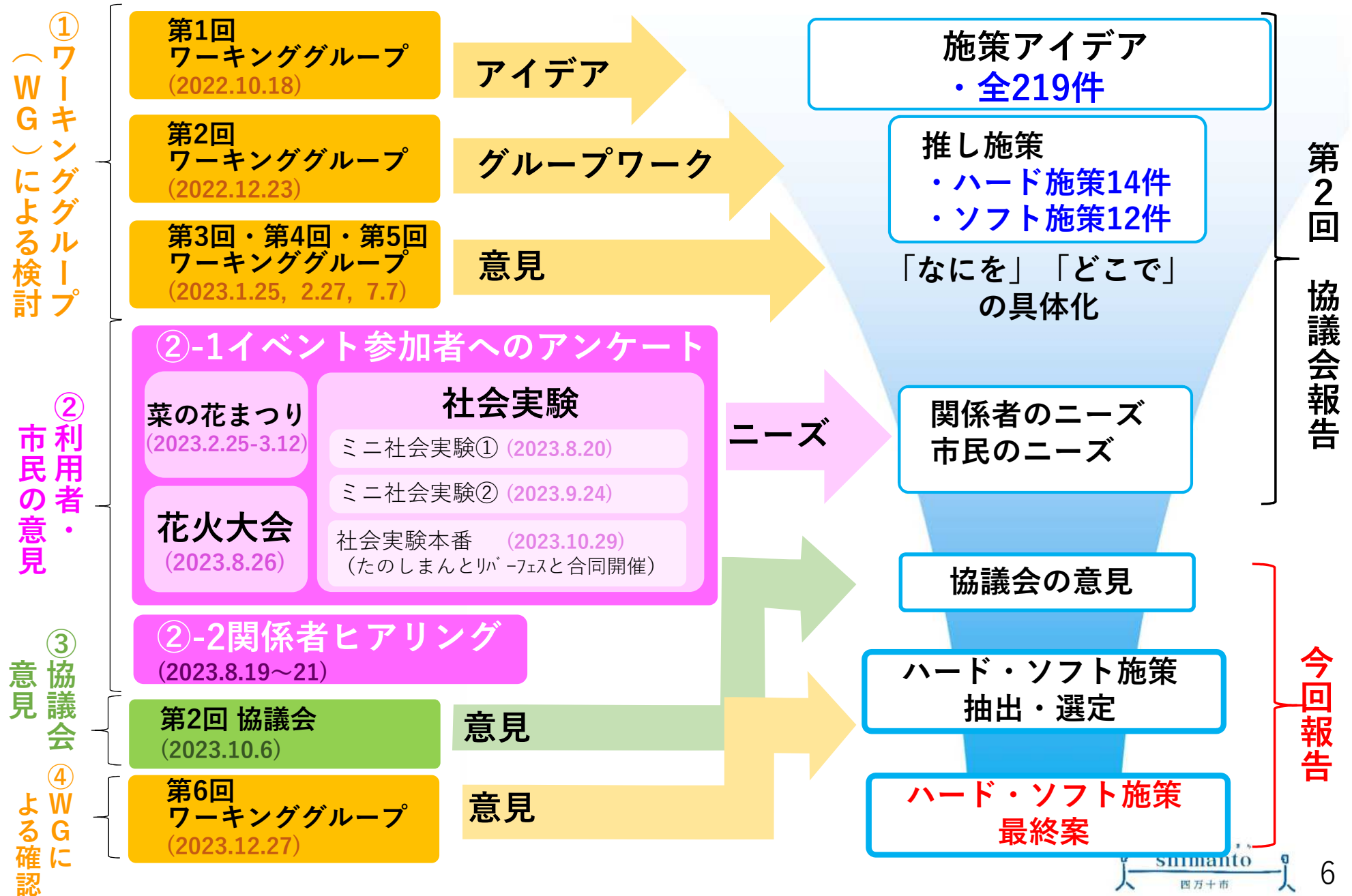
最後に集合写真を撮影

主な意見についてはハード・ソフト施策へ

(2)かわまちづくり計画のハード・ソフト施策について
1)ハード・ソフト施策の抽出

(2) 1) ハード・ソフト施策の抽出

- ハード・ソフト施策について、以下の手順で抽出しました。



- “推し施策”(ハード14件、ソフト12件)を選定し、内容の具体化を進めました。

■ “推し施策”一覧

P.17~20 : ①推し施策

推し施策 (ハード)	
分類	“推し施策”メニュー
良好な環境を将来に向けて て守り育てる	<ul style="list-style-type: none"> ・ 四万十川の保全活動 (散策路の保全等)
四万十川の魅力を活かし た新たな場を創出する	<ul style="list-style-type: none"> ・ アスレチックの整備
	<ul style="list-style-type: none"> ・ ヨシ原迷路の整備
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 水との触れ合いの場の創出
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 植物公園 (花畑) の整備 ・ バーベキュー場整備、キャンプ場のリニューアル
様々な水辺利用に資する 利便施設を充実する	<ul style="list-style-type: none"> ・ トイレの整備
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 案内板 (サイン) の整備
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 川床の整備
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 駐車場の拡充
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 野外劇場にもなる広場整備
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 船着場の整備
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 日陰の整備 ・ 電源設備の整備
計	ハード施策 : 14件

推し施策 (ソフト)	
分類	“推し施策”メニュー
良好な環境を将来に向けて て守り育てる	<ul style="list-style-type: none"> ・ 四万十川の保全活動 (環境保全、自然観察等)
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 四万十川の水源地再生
水辺の賑わいを創出する (四万十川らしいイベントの 企画・運営)	<ul style="list-style-type: none"> ・ キッチンカー・マルシェ・日曜市
	<ul style="list-style-type: none"> ・ カヌー大会
	<ul style="list-style-type: none"> ・ スポーツイベント
	<ul style="list-style-type: none"> ・ ライトアップ (赤鉄橋等)
	<ul style="list-style-type: none"> ・ アートプロジェクト ・ その他多様なイベント
川やまちの魅力を繋ぐ仕 組みをつくる (ネットワーク形成)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 沈下橋フォトラリー
	<ul style="list-style-type: none"> ・ まちなかとの周遊の魅力化
	<ul style="list-style-type: none"> ・ ウォーキング・サイクリングコースの拡充と活用
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 四万十川かわまちミュージアム
計	ソフト施策 : 12件

②-1 イベント参加者へのアンケート

- イベント参加者へのアンケートを行い、のべ319件のニーズを把握しました。

■ アンケートを実施したイベント一覧

イベント	時期	アンケート回答数
菜の花まつり	令和5年2月25日（土）～3月4日（土）	94件
第1回 四万十川かわまちづくり社会実験	令和5年8月20日（日）	18件
しまんと納涼花火大会	令和5年8月26日（土）	93件
第2回 四万十川かわまちづくり社会実験	令和5年9月24日（日）	38件
第3回 四万十川かわまちづくり社会実験 ※「たのしまんとリバーフェス」とコラボ開催	令和5年10月29日（日）	76件
合計		319件

協議会報告
第2回

今回報告

※菜の花まつりを除き、1人複数回答可とした。

- 四万十川かわまちづくり社会実験「きてみて！四万十」を計3回開催しました。

■ 社会実験の概要

実施時期	参加者数	実施メニュー
令和5年度	第1回 (8月20日) 50名 (16組)	【共通】 <ul style="list-style-type: none"> ・土器づくり ・まき割り体験 ・川遊び、石遊び 【第1回のみ】 <ul style="list-style-type: none"> ・ヨシ原迷路 ・ヤナギ林クイズラリー
	第2回 (9月24日) 106名 (44組)	【第2回のみ】 <ul style="list-style-type: none"> ・足こぎサップ ・ミニキャンプ体験 (まき割り、火起こし、ロープワーク) ・キッチンカー（コーヒー等飲料）
	第3回 (10月29日) 400名以上 (166組以上)	<ul style="list-style-type: none"> ・第1・2回社会実験の結果を踏まえ、実施メニューを取捨選択 ※「たのしまんとリバーフェスティバル（中村商工会議所青年部主催）」との合同開催



足こぎサップ



土器づくり



簡易アスレチック Shimanto

四万十市

②-1 イベント参加者へのアンケート（1/3）

■かわまちづくりのニーズに関するアンケート結果

上位3位の施策を抽出

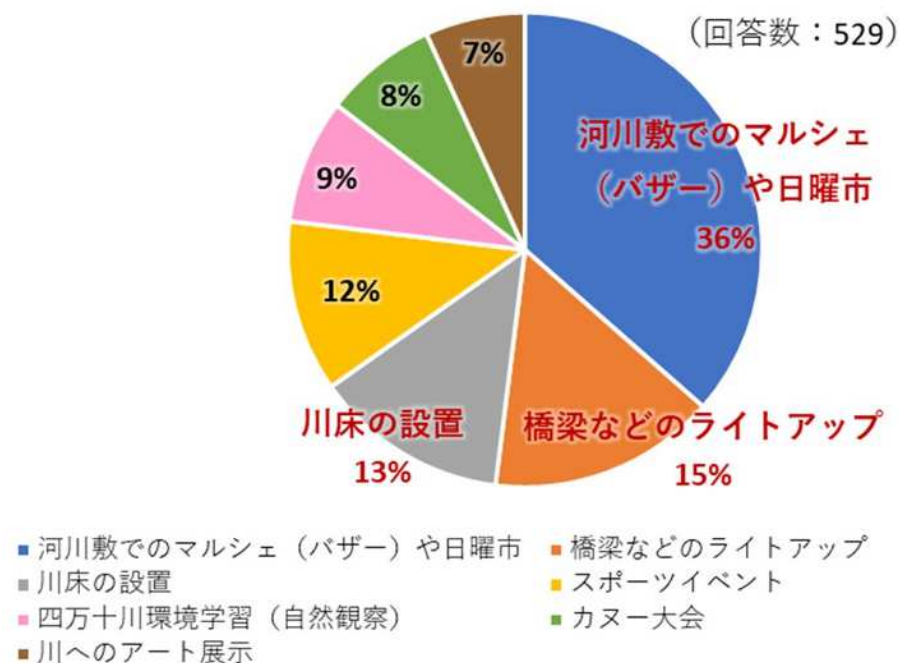
■ 四万十川の利用について

Q. 日常で四万十川を利用した取り組みがあれば利用したいですか？



⇒ 四万十川を利用した日常的な取組について期待されている

Q. どんな取り組みがあれば利用したいですか？



⇒ マルシェを中心に様々な取り組みが期待されている

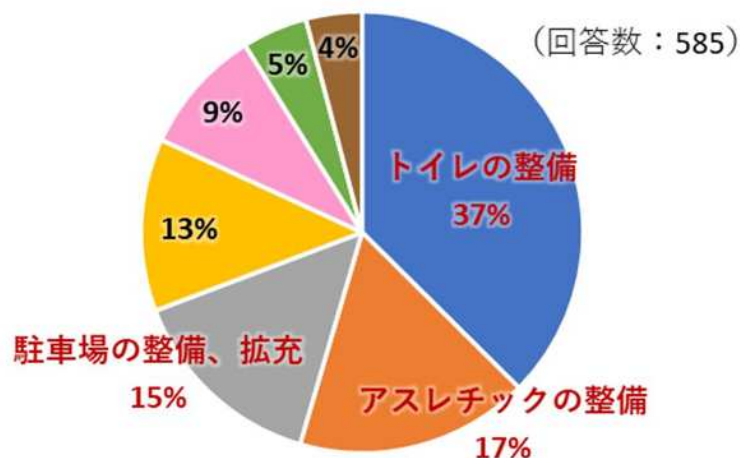
②-1 イベント参加者へのアンケート（2/3）

■かわまちづくりのニーズに関するアンケート結果

上位3位の施策を抽出

■ 四万十川の利用について

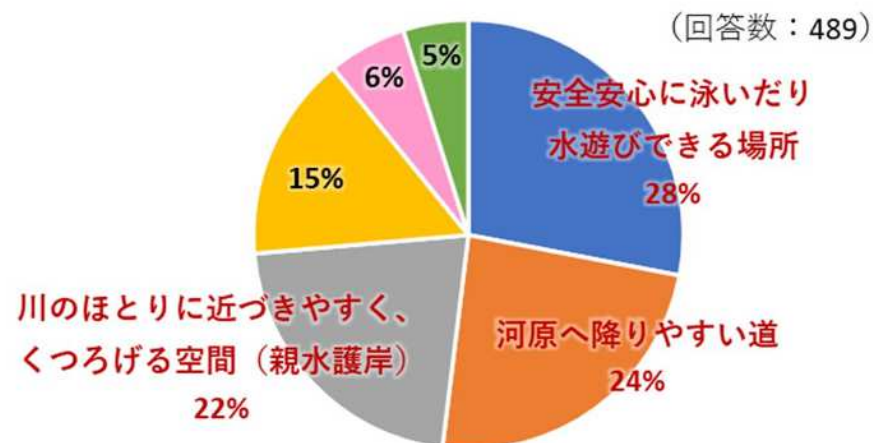
Q. 河川敷の公園施設にあれば良い、改善すべきと思うものは？



- トイレの整備
- アスレチックの整備
- 駐車場の整備、拡充
- ベンチ等の休憩施設
- イベント会場、野外劇場の整備
- 園路の整備
- 案内板の整備

⇒ トイレの整備やアスレチックの整備についての声が多い

Q. 河川敷の魅力向上のためにあれば良い、改善すべきと思うものは？



- 安全安心に泳いだり水遊びできる場所
- 河原へ降りやすい道
- 川のほとりに近づきやすく、くつろげる空間（親水護岸）
- 四季を通じて楽しめる花畑
- 上～下流をつなぐサイクリングロード
- カヌー等が発着可能な船着場

⇒ 安全に川遊びをしたい、河原へ降りやすい道がほしいなどと川との触れ合いやすさに関する声が多い

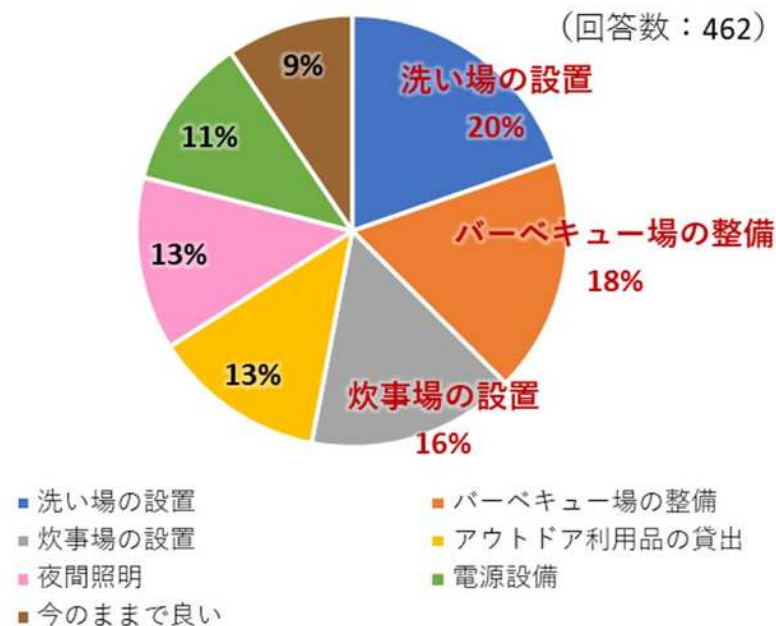
②-1 イベント参加者へのアンケート（3/3）

■かわまちづくりのニーズに関するアンケート結果

上位3位の施策を抽出

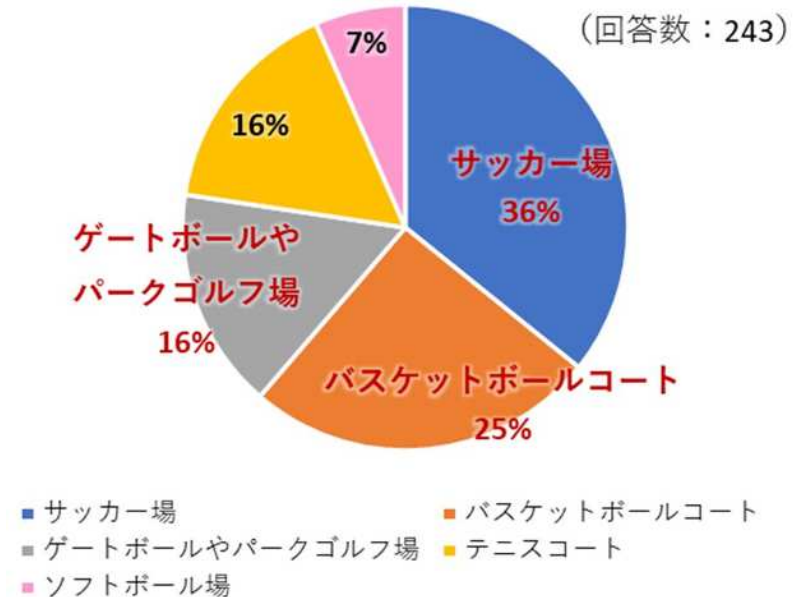
■ 河川敷の施設について

Q. 河川敷のキャンプ場であれば良い、改善すべきと思うものは？



⇒ 洗い場やバーベキュー場、炊事場の設置を望む声が多かった。一方で、今のままという意見も一定数あった

Q. 河川敷のスポーツ施設であれば良い、改善すべきと思うものは？



⇒ サッカー場やバスケットボールコートを望む声が多かった

②-1 イベント参加者へのアンケート

■ アンケートによる主なニーズ一覧（各分類の上位3位） P.17～20：②アンケート(上位3位)

分類	主なニーズ
イベント等の企画・運営	<ul style="list-style-type: none"> 河川敷でのマルシェ（バザー）や日曜日 橋梁などのライトアップ 川床の設置
河川敷の公園施設	<ul style="list-style-type: none"> トイレの整備 アスレチックの整備 駐車場の整備、拡充
四万十川の魅力アップ	<ul style="list-style-type: none"> 安心安全に泳いだり水遊びできる場所 河原へ降りやすい道 川のほとりに近づきやすく、くつろげる空間（親水護岸）
バーベキュー場の整備、 キャンプ場のリニューアル	<ul style="list-style-type: none"> 洗い場の設置 バーベキュー場の整備 炊事場の設置
スポーツ施設	<ul style="list-style-type: none"> サッカー場 バスケットボールコート ゲートボールやパークゴルフ場
計	<p>ハード施策：13件 ソフト施策：2件</p>

- 施策の“担い手”となりうる関係者にヒアリングを行い、ニーズを把握しました。

■ 関係者ヒアリングによる主なニーズ一覧

P.17~20 : ③関係者ヒアリング意見

実施時期	ヒアリング対象	主なニーズ
令和5年 8月	四万十川漁業協同組合連合会	<ul style="list-style-type: none"> ・入江への階段護岸整備 ・入江の環境改善 (水質改善のための導水路整備、泥の浚渫、周囲の樹林伐採) ・水辺へのアクセス路
	かわらっこ	<ul style="list-style-type: none"> ・水辺へのアクセス路
	(公財) 四万十市公園管理公社	<ul style="list-style-type: none"> ・駐車場 ・ヤナギ林付近に水道設置 ・常設トイレの整備 ・大型犬用のドッグラン ・花壇、花畑
	(公財) 四万十市スポーツ協会 (公社) 四万十市グラウンド・ゴルフ協会 ※2者同時にヒアリング実施	<ul style="list-style-type: none"> ・グラウンドゴルフのコース ・駐車場 ・トイレ ・ベンチ ・日陰
	計	ハード施策：11件（重複を考慮）

③ 第2回 協議会 意見（再掲）

■ 施策案に関する主な意見・要望

- ① 水が綺麗になると人が集まると思われるので、**入江内の水質浄化**は、ぜひ実現させてほしい。
- ② **案内板**は外国語にも対応し、**ライトアップ**で夜間も視認できるような工夫をしてほしい。
- ③ ヤナギ林と水辺の間の河原に土砂が高く堆積しているため、**掘削すると川に近づきやすい**。
- ④ 入田のヤナギ林の園路は雨が降るとぬかるんで歩きにくく、車いすの場合は移動が困難となるため、**園路の整備**はぜひ実施してほしい。
- ⑤ イベントの仮設ステージを建築する際に柱などを建てこみができるような**基礎**がほしい。

■ 主な意見に対する対応

P.17~20 : ④協議会意見へ

- ①入江内の水質浄化、 ②案内板、 ③河原へ降りやすい道の整備
- ④入田のヤナギ林の園路の整備

→ **上記4件の意見をハード施策に反映**

- ⑤河川管理者と協議のうえ、一時的な利用のみの基礎の整備については河川管理上、常設は困難なため除外

④ 第6回 ワーキンググループ 意見（再掲）

■ 施策の選定結果に関する主な意見・要望

【環境配慮について】

- ①入江の整備について、自然環境保全の観点から学識者に意見をいただく必要があると思う。また、整備をするうえで環境に配慮することについて広く発信・共有されることを望む。
- ②キャンプ場への水道の設置について、禁止していても洗剤を使う人が出てくると思う。浄化設備等を整備していただけると助かる。
- ③マイヅルテンナンショウという重要種がヤナギ林の中に生育しているので、保全しながら整備を進めていただければと思う。

【施策の推進について】

- ④ソフト施策については、どのようにPRしていくかが重要になる。例えばジャパンエコトラックでは、公式サイトやアプリでいろいろなエリアのルートマップを公開しており、PR効果は非常に高い。
- ⑤ソフト施策の内容・担い手を具体化するために、引き続き検討が必要である。

■ 主な意見に対する対応

P.22～23：◎該当

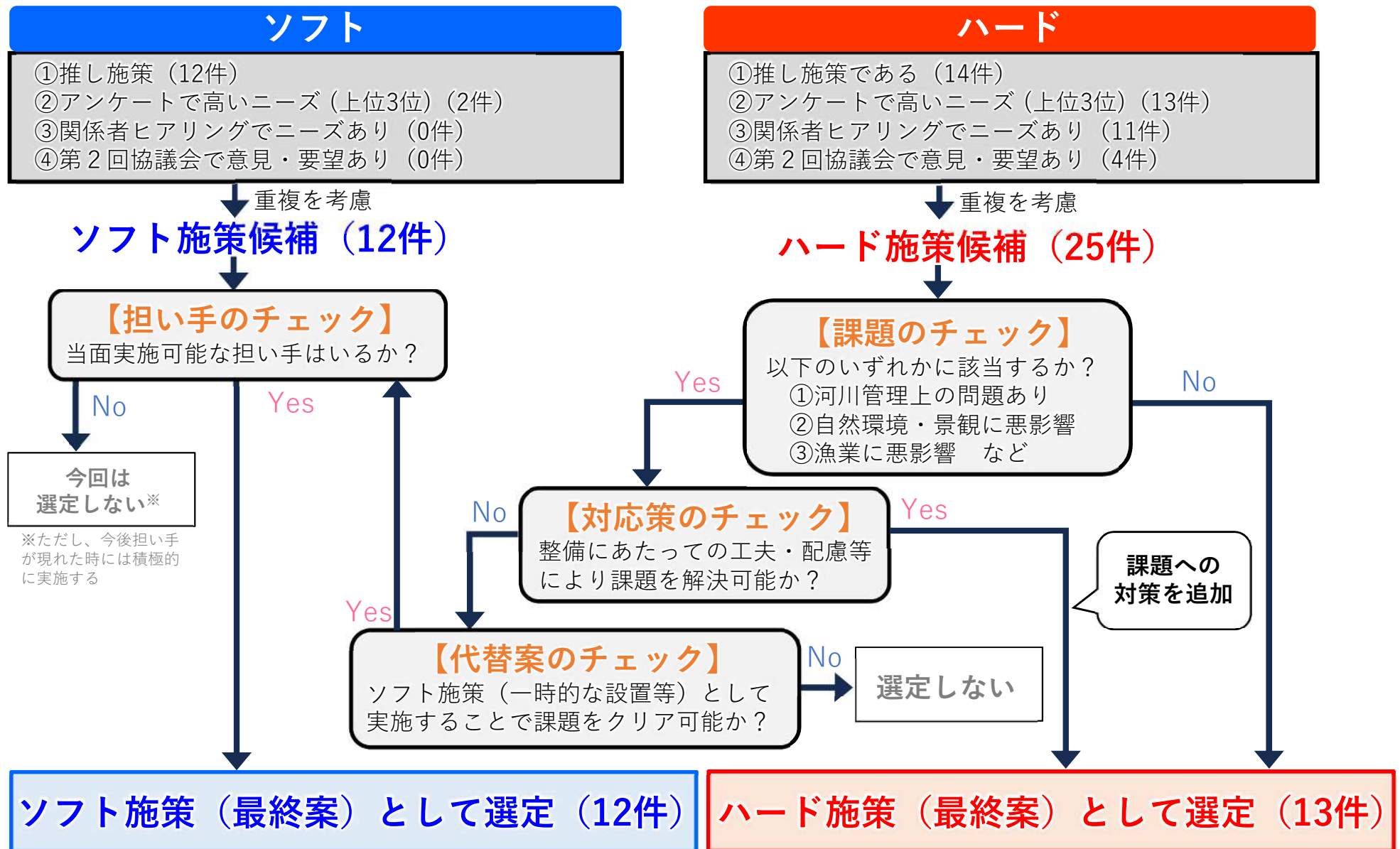
主な意見として、今後、施策を推進する際の留意点があげられた

→ハード・ソフト施策を進めるにあたっての留意点として整理

(2)かわまちづくり計画のハード・ソフト施策について
2)ハード・ソフト施策の選定方法

2) ハード・ソフト施策の選定方法

■ 施策の選定手順（フロー）



かわまちづくり計画に位置付ける施策の選定

■ハード施策の選定結果（1/2）

■：ハード施策（最終案）として選定 □：ソフト施策（最終案）として選定

ハード施策							
分類	メニュー	ニーズ等				⑤課題	①～⑤を踏まえた 具体化の結果
		① 推し 施策	②アンケート (上位3 位)	③関係者 ヒアリング 意見	④協議会 意見		
良好な環境 を将来に向 けて守り育 てる	・四万十川の保全活動 (散策路の保全、園路の整備等)	○			○	景観への配慮が必要	・景観に配慮した舗装（緑地・竹藪林）
	・トイレの整備	○	○	○		河川管理上、河川敷への 常設は困難	・堤防裏（キャンプ場付近）、近隣公園（具同 公園）への常設トイレ設置
水辺利用に 資する利便 施設の拡充	・案内板（サイン）の整備	○			○	景観への配慮、外国語対 応、夜間視認が必要	・統一デザイン、外国語対応、夜間視認可能な 既存案内看板のリニューアル
	・駐車場の整備、拡充	○	○	○		景観への配慮が必要	・景観に配慮した駐車場の増設(左右岸)
	・ベンチ等の休憩施設			○		河川管理上、問題あり	・撤去可能（取外）なベンチ等を設置(左右岸)
	・船着場の整備	○				河川管理上不可	・加-等を水辺に降ろせる知- ^o 整備で対応
	・川床の整備	○	○			河川管理上、常設は困難	・ソフト施策で対応（一時的な設置）
	・電源設備の整備	○				河川管理上、常設は困難	・ソフト施策で対応（一時的な設置、貸出 等）
	・日陰の整備	○		○		河川管理上、あずまや等 の常設は困難	・親水護岸整備の際に木陰を一部存置
	・野外劇場にもなる広場整備	○				既に整備済み	・緑地などの広場で対応
	・大型犬用のドッグラン			○		既に整備済み	—
スポーツ 施設	・バスケットボールコート		○			河川管理上、問題あり	・ソフト施策で対応（既存テニスコートの一 部を転用：撤去可能（移動式）なもの）
	・グラウンドゴルフコースの整備			○		広い用地が必要	・ソフト施策で対応（緑地やキャンプ場を利用）
	・サッカー場		○			既に整備済み	—
	・ゲートボールやパークゴルフ場		○			既に整備済み	—

かわまちづくり計画に位置付ける施策の選定

■ハード施策の選定結果 (2/2)

■ : ハード施策 (最終案) として選定 ■ : ソフト施策 (最終案) として選定

分類	メニュー	ハード施策				⑤課題	①～⑤を踏まえた 具体化の結果	
		ニーズ等						
		① 推し 施策	②アンケート (上位3 位)	③関係者 ヒアリング 意見	④協議会 意見			
四万十川の魅力を活かした新たな場を創出する	水との 触れ合いの 場の創出	・水辺へのアクセス路、 河原へ降りやすい道の整備 河原の掘削 (土砂堆積部)	○	○	○	○	・水辺へのアクセス路の整備 ・樹林伐採、河原の掘削	
		・親水護岸、 階段護岸整備	○	○	○		自然環境に配慮しながら の実施が必要	・親水護岸整備 (入江の環境に配慮しながら)
		・入江の環境改善 (地下導水路等整備)			○	○	〃	・入江への地下導水路等の整備
		・入江の環境改善 (底泥の浚渫)			○		〃	・入江の底泥の浚渫
		・入江の環境改善 (樹林の伐採)			○		〃	・入江周囲の樹林の伐採
		・安心安全に泳いだり水遊び できる場所	○	○			〃	・入江の親水化、環境改善 (上記の親水護岸の整備、入江の環 境改善により実現)
	バーベキュー 場整備、キャン プ場のリ ニューアル	・洗い場の設置 水道の設置	○	○	○		河川管理上、洗面台等の 常設は困難	・水道施設の拡充
		・バーベキュー場の整備	○	○			河川管理上、河川敷への 施設整備は困難	・公園管理の運営上、緑地をバーベ キュー場として開放(エリア限定)
		・炊事場の設置	○	○			河川管理上、洗面台等の 常設は困難	— (洗い場の設置で代用)
		・植物公園 (花畑) の整備	○		○		既存生態系に影響の恐れ	・ソフト施策で対応(既存の花畑 (菜 の花、彼岸花) の保全)
		・アスレチックの整備	○	○			河川管理上、常設は困難	・ソフト施策で対応(一時的な設置、 設置場所であるヤギ林の保全)
		・ヨシ原迷路の整備	○				継続的な維持管理が必要	・ソフト施策で対応(一時的な設置)

かわまちづくり計画に位置付ける施策の選定

■ソフト施策の選定結果（1/1）

■：ソフト施策（最終案）として選定

ソフト施策								
分類	メニュー	① 推し 施策	ニーズ等			担い手の有無		
			②アンケート (上位3位)	③関係者 ヒアリング意見	④協議会 意見	国	市	地元・ 民間事業者
良好な環境を将来に 向けて守り育てる	・四万十川の保全活動（環境保全、自然観察等）	○				●	●	●
	・四万十川の水源林再生※	○						
水辺の賑わいを 創出する (四万十川らしい イベントの企画・ 運営)	・キッチンカー、マルシェ（バザー）、日曜市	○	○					●
	・河川アクティビティ（カヌー等） （※カヌー大会からより広義の利用に修正）	○					●	●
	・スポーツイベント	○						●
	・橋梁などのライトアップ	○	○					
	・アートプロジェクト	○						
	・その他多様なイベント	○						
川やまちの魅力を 繋ぐ仕組み (ネットワーク 形成)	・まちなかとの周遊の魅力化	○					●	
	・ウォーキング・サイクリングコースの拡充と活用	○					●	
	・沈下橋フォトラリー	○						
	・四万十川かわまちミュージアム	○						
その他 (ハード施策 から転記)	・アスレチックの一時的な整備	○	○				●	●
	・バスケットボールコート の整備 (既存テニスコートの一部を転用)		○				●	
	・グラウンドゴルフコース の設置（緑地を利用）			○				●
	・バーベキューエリアの 設置	○	○				●	
	・既存の花畑（菜の花、 彼岸花）の保全	○		○			●	●
	・電源設備の一時的な 設置・貸出等	○						
	・川床の一時的な設置	○	○					
・ヨシ原迷路の一時的な 設置	○							

※『四万十川の水源林再生』は、かわまちづくり施策の対象外であるが、相互にコンセプトを共有した上で、協力しながら進める。

(2)かわまちづくり計画のハード・ソフト施策について

3)ハード・ソフト施策の選定結果

ハード・ソフト施策の選定結果 まとめ

■ハード施策のメニュー・役割分担

項目	No.	施策内容	役割分担		
			国交省	四万十市	地元・民間事業者
ハード 施策	1	景観に配慮した管理用通路（園路）の整備、散策路の保全	●		
	2	堤防裏、近隣公園への常設トイレの設置	●（基盤）	●（施設）	
	3	案内板の整備（統一デザイン、外国語対応、夜間視認可能）		●	
	4	左右岸に駐車場を増設	●	●	
	5	ベンチ等の設置		●	
	6	カヌー等を水辺に降ろせるスロープの整備	●		
	7	水辺へのアクセス路の整備	●		
	8	樹林伐採、河原の掘削	●		
	9	親水護岸の整備（水辺の木陰を一部存置）	●		
	10	入江への地下導水路等の整備	●		
	11	入江の底泥浚渫	●		
	12	入江周囲の樹林の伐採	●		
	13	キャンプ場への洗い場設置		●	

■ハード施策の推進に関する留意点

項目	留意点
【安全】河川利用についての安全性の確保	<ul style="list-style-type: none"> 水との触れ合いの場においては、安全に配慮した構造とするとともに、利用するためのルールを定め、周知する。
【環境】動植物の保全等	<ul style="list-style-type: none"> ◎入江部の整備にあたっては、必要に応じて専門家の意見を聴取し、重要種等の生息・生育環境の保全に配慮する。 ◎ヤナギ林周辺の整備にあたっては、マイヅルテンナンショウの保全に配慮する。 ◎洗い場の整備にあたっては、誤って洗剤が使用されるリスクに備え、簡易な浄化対策の検討を行う。
【景観】管理用通路（園路）の規格等	<ul style="list-style-type: none"> 自然景観への調和について配慮するとともに、耐久性や補修等維持管理のしやすさにも配慮し検討する。
【景観】案内板等デザインの統一	<ul style="list-style-type: none"> 案内板（サイン）等の整備にあたっては、四万十川らしく、統一性のあるデザインとする。
【維持管理】施設の維持管理	<ul style="list-style-type: none"> 施設の維持管理の役割分担を具体化する。

※下線：第6回ワーキンググループ意見への対応

ハード・ソフト施策の選定結果 まとめ

■ソフト施策のメニュー・役割分担

項目	No.	施策内容	役割分担		
			国交省	四万十市	地元・民間事業者
ソフト 施策	1	四万十川の保全活動(環境保全、自然観察等)	●	●	●
	2	キッチンカー、マルシェ(バザー)、日曜日			●
	3	河川アクティビティ(カヌー等)			●
	4	スポーツイベント			●
	5	まちなかとの周遊の魅力化		●	
	6	ウォーキング・サイクリングコースの拡充と活用		●	
	7	アスレチックの一時的な設置		●	●
	8	バスケットボールコート of 整備(既存テニスコートの一部を転用)		●	
	9	グラウンドゴルフコースの整備		●	
	10	バーベキューエリアの設置		●	
	11	既存の花畑(菜の花、彼岸花)の保全			●
	12	四万十川利用への安全性の確保(水難防止対策)※	●	●	●

※事故防止の取組みとして追加(水難防止に向けた安全教室の開催、看板の設置等)

■ソフト施策の推進に関する留意点

項目	留意点
民間利用の推進	◎ 四万十川の河川敷を利用しやすい施策のPRを進める。
役割分担の調整	◎ ソフト施策の内容詳細と役割分担を具体化する。

※下線：第6回ワーキンググループ意見への対応

(3) 四万十川かわまちづくりロゴマークについて

ロゴマークの検討について

■ 四万十川かわまちづくりロゴマークの決定

今後のかわまちづくりに関するイベントや広報等に活用するため、四万十川かわまちづくりの「ロゴマーク」を決定しました。

【ロゴマークの検討手順】

- ①第1回・第2回社会実験やその他の機会を通じてロゴマークを募集
- ②第3回社会実験で投票を行い、上位10作品程度を決定
- ③上位作品をもとに、第6回ワーキンググループでの投票で最終案を決定

決定したロゴマーク



(参考) そのほかの上位作品



ロゴマークの使用例：
イベント時ののぼり、
各種広報媒体、グッズ
など



(4) 今後のスケジュールについて

今後のスケジュールについて

- ・ 来年8月のかわまちづくり計画登録に向けて、以下のとおり進めます。

■ 計画登録に向けた今後のスケジュール

(開催時期)	会議等	内容
令和6年 2月8日	第3回 協議会	【審議】 ・ かわまちづくり計画（案） ・ かわまちづくり計画の推進方針

今回



	令和6年度				令和7年度				令和8年度～	
	4-6月	7-9月	10-12月	1-3月	4-6月	7-9月	10-12月	1-3月		
計画申請・登録	■	■ 計画申請 (5月～) ■ 計画登録 (8月) ■ 伝達式 (9月)								
ハード整備				設計	■				整備	■ ■ ■

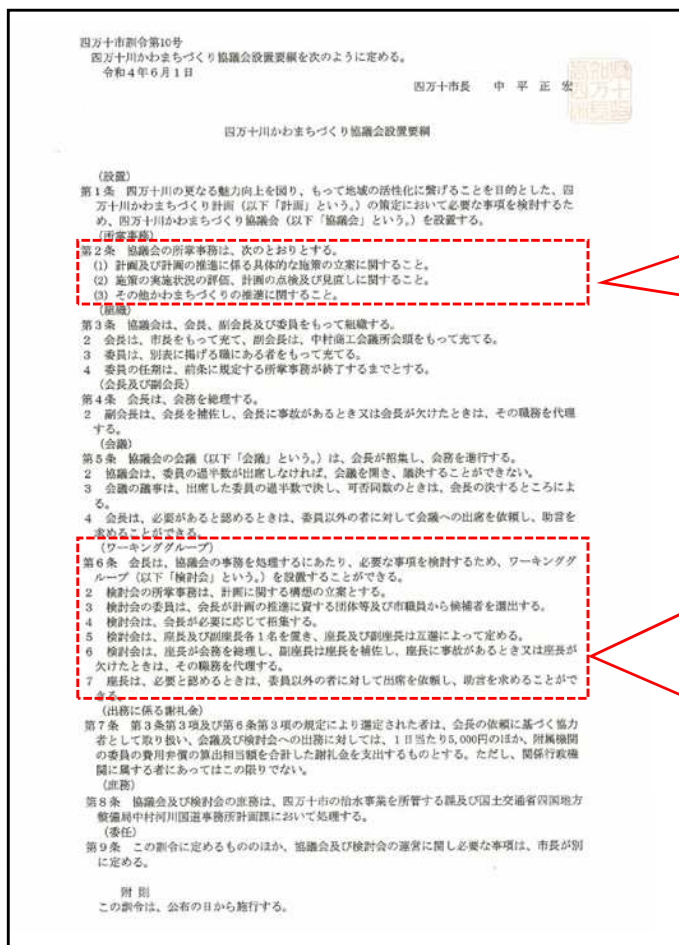
注) 上記のスケジュールは最終決定したものではありません。

(5) 今後の取り組みについて

協議会・ワーキンググループの今後について

■ 四万十川かわまちづくり協議会設置要綱

- ・現在のワーキンググループは、『計画に関する構想の立案』を役割としているため、かわまちづくり計画の登録をもって解散となります。
- ・協議会は、計画登録後も計画推進、点検、見直し等(PDCA)に関わっていきます。



■ 協議会の役割

(所掌事務)

第2条 協議会の所掌事務は、次のとおりとする。

- (1) 計画及び計画の推進に係る具体的な施策の立案に関すること。
- (2) 施策の実施状況の評価、計画の点検及び見直しに関すること。
- (3) その他かわまちづくりの推進に関すること。

■ ワーキンググループの役割

(ワーキンググループ)

第6条 会長は、協議会の事務を処理するにあたり、必要な事項を検討するため、ワーキンググループ(以下「検討会」という。)を設置することができる。

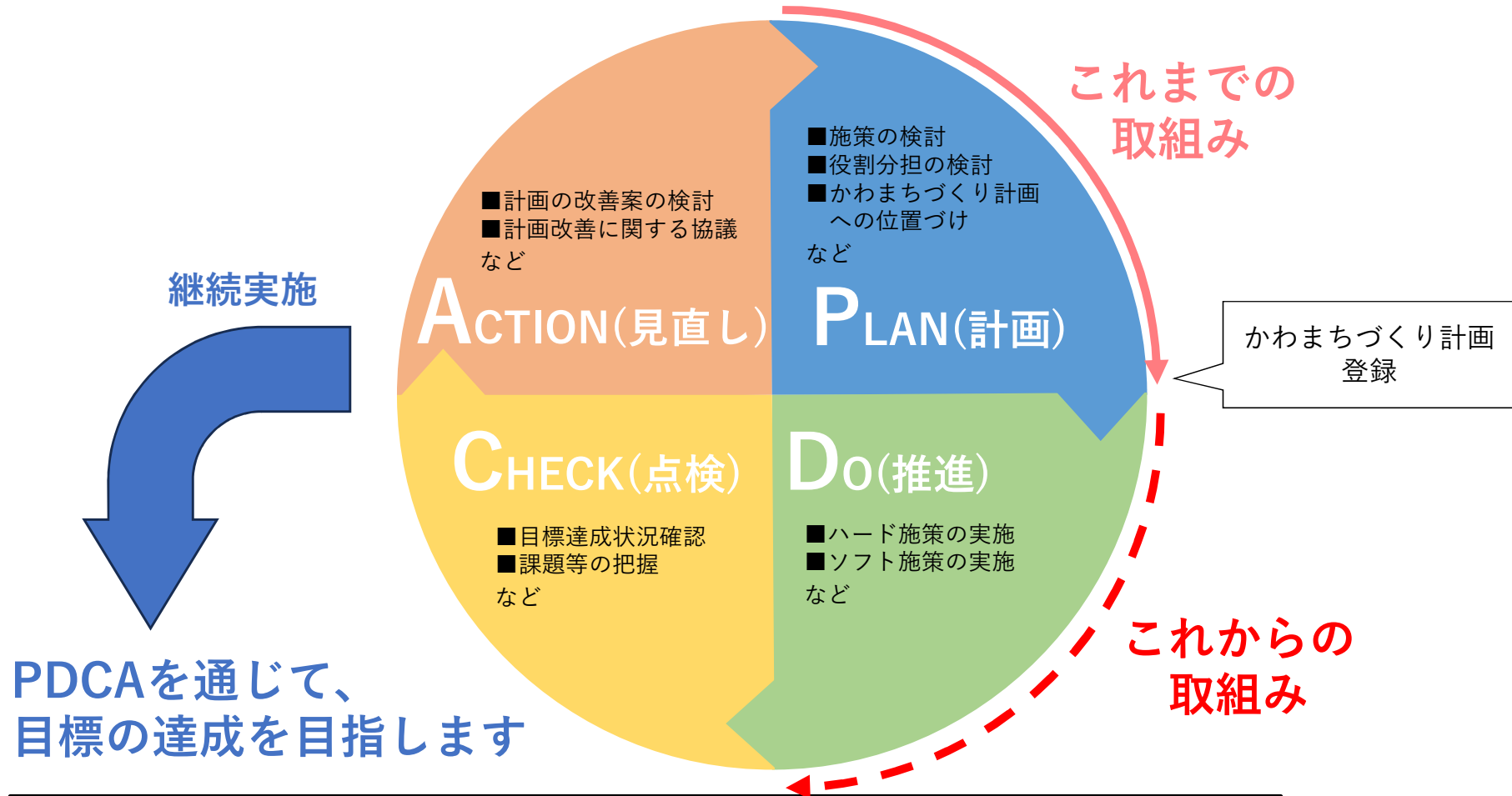
- 2 検討会の所掌事務は、計画に関する構想の立案とする。
- 3 検討会の委員は、会長が計画の推進に資する団体等及び市職員から候補者を選出する。
- 4 検討会は、会長が必要に応じて招集する。
- 5 検討会は、座長及び副座長各1名を置き、座長及び副座長は互選によって定める。
- 6 検討会は、座長が会務を総理し、副座長は座長を補佐し、座長に事故があるとき又は座長が欠けたときは、その職務を代理する。
- 7 座長は、必要と認めるときは、委員以外の者に対して出席を依頼し、助言を求めることができる。

四万十川かわまちづくり協議会設置要綱

計画登録後の施策の推進について

・ 施策の推進、PDCAのイメージ

- ・ 四万十川かわまちづくり計画に関わる取組みは、この先も続いていきます。



- ◆ 基本方針（コンセプト）：「川でつながるひと・まち・未来の創生」
- ◆ 基本方針の目標：
 - ・ 安全・安心に川とふれあえる水辺空間の創出
 - ・ 地域や事業者などが河川空間を活用した更なる取組みの推進
 - ・ まちと川の魅力の向上を図るとともに回遊性を高め、交流人口の拡大を図る

今後の推進体制について

- ・ 今後、施策の“担い手”を中心とした推進体制を構築し、計画を着実に推進していきます。

■ 計画検討時・推進時の体制イメージ

